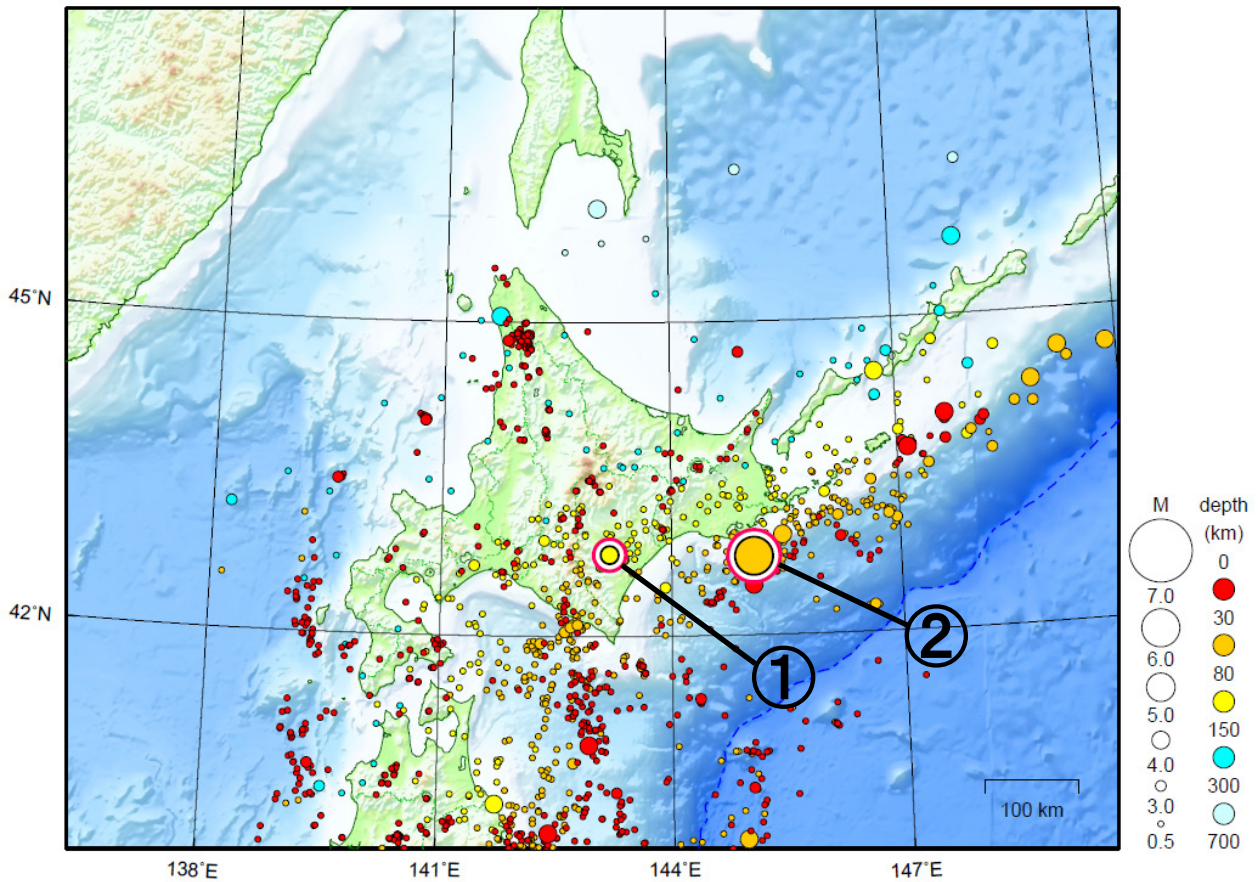


北海道地方

2023/02/01 00:00 ~ 2023/02/28 24:00

N=1392



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 2月20日に十勝地方中部で M4.9 の地震（最大震度 3）が発生した。
- ② 2月25日に釧路沖で M6.0 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

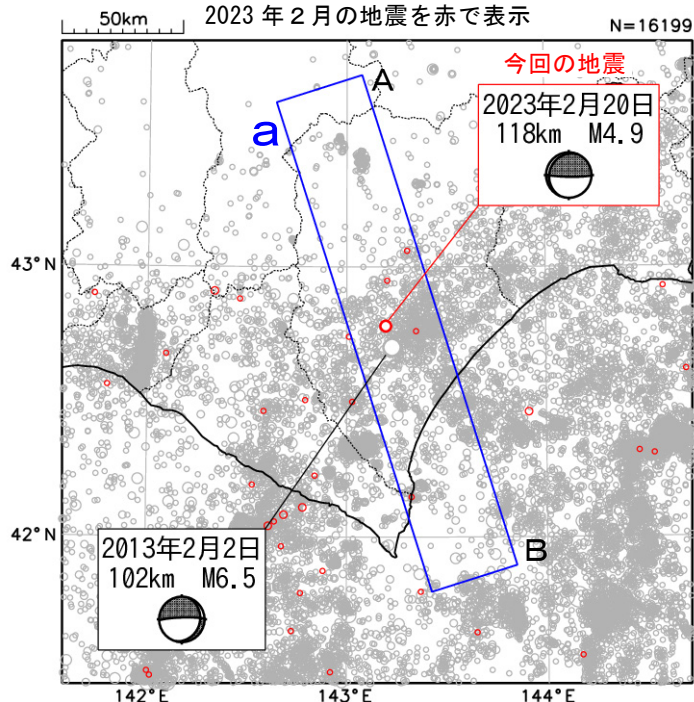
気象庁・文部科学省

2月20日 十勝地方中部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2023年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2023年2月の地震を赤で表示

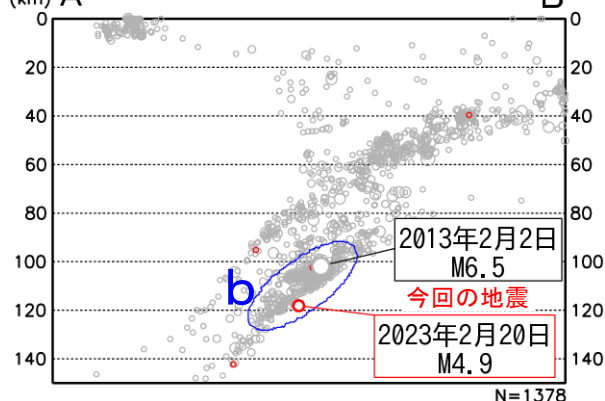


2023年2月20日03時55分に十勝地方中部の深さ118kmで $M 4.9$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部 (二重地震面の下面) で発生した。発震機構は太平洋プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

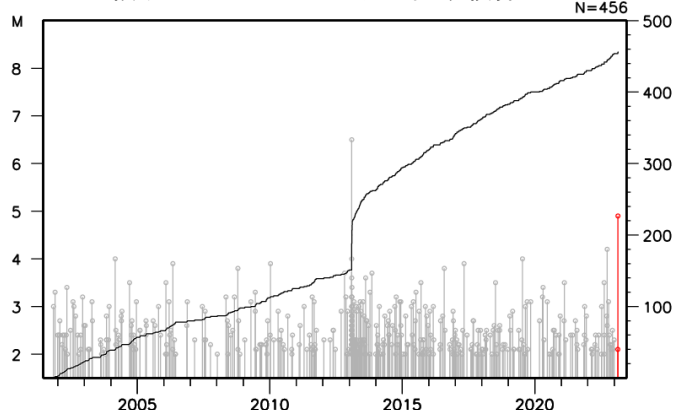
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4.0$ 程度の地震がしばしば発生しているが、 $M 5$ クラス以上の地震は1回しか発生していなかった。2013年2月2日の $M 6.5$ の地震 (最大震度5強) では、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が2回発生しており、1987年1月14日の $M 6.6$ の地震 (最大震度5) では、重軽傷者7人、建物破損などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域a内の断面図 (A-B投影)

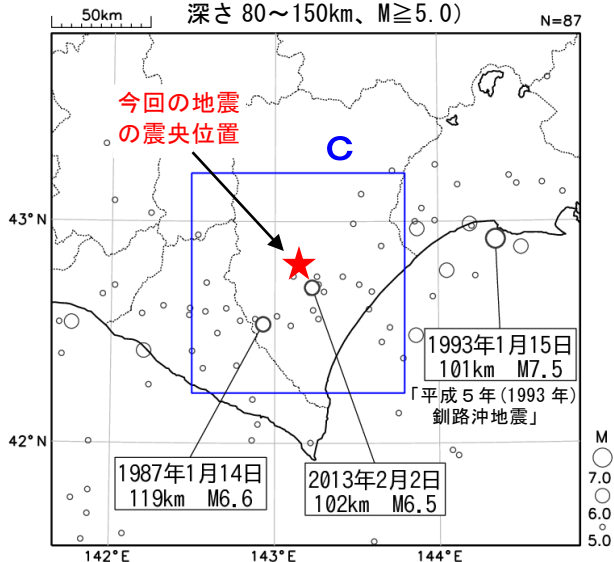


領域b内のM-T図及び回数積算図

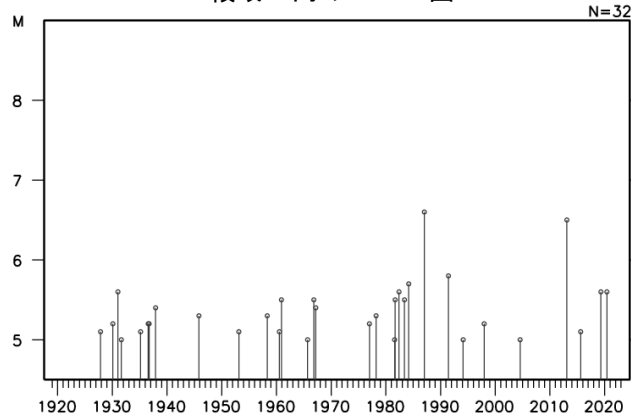


震央分布図

(1919年1月1日～2023年2月28日、
深さ80～150km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



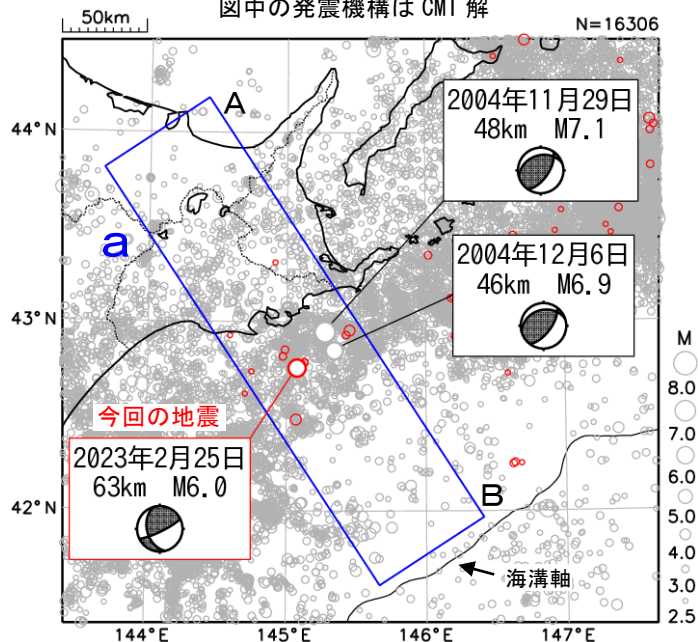
2月25日 釧路沖の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2023年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)

2023年2月の地震を赤で表示

図中の発震機構はCMT解

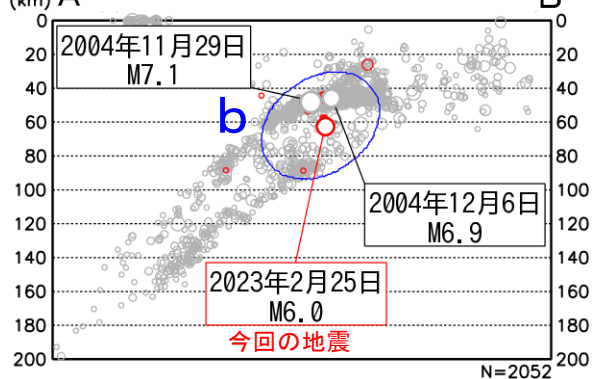


2023年2月25日22時27分に釧路沖の深さ63kmでM6.0の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

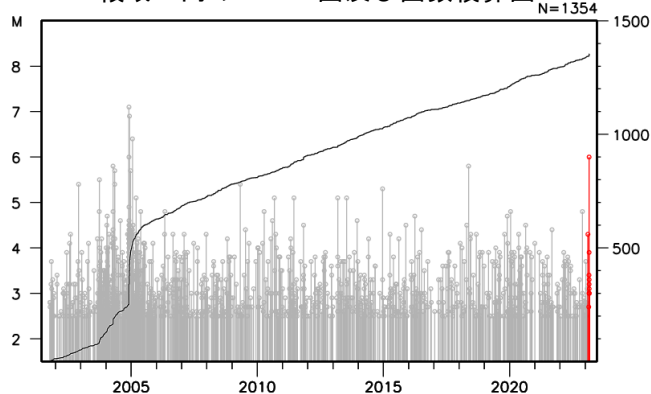
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5以上の地震が時々発生しており、2004年11月29日のM7.1の地震（最大震度5強）では、負傷者52人、住家全壊1棟、一部破損4棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じた。また、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。

(km) A 領域a内の断面図（A－B投影）

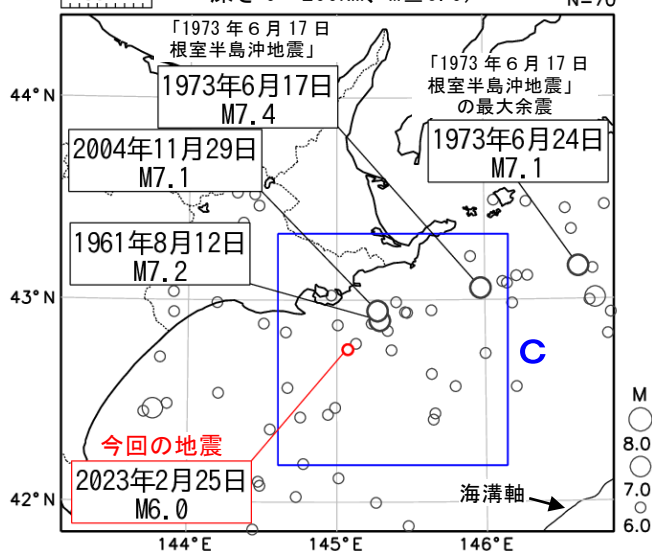


領域b内のM－T図及び回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2023年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図

